

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～

天災は忘れたころにやってくる・・・とよく聞かされた。ことが起こってから、なるほど・よく言ったものだ、などと考えたりもしていた。しかし、何も元日にやってこなくてもいいだろう、と誰もが感じたのではないか。これまで日常であった生活ができるようになり、やっとの思いを抱きながらの帰省、親族との再会、団欒・・・。温め続けた楽しみの時がまさに始まろうとしていたのに・・・。北陸方面に御親族がいらっしゃる方、ご心配されていることと存じます。お見舞い申し上げます。雨や雪などの天候悪化も待ってくれてはいない。被災地の映像は、日に日に深刻さを増すその悲惨さを伝えている。翌日に起こったジャンボ機炎上のニュースは、まるで映画のようで、目を疑うような現実が、新年早々に日本で起こってしまった。

またしても、今度は北陸に向けて、何ができるか考えさせられる一年になりそうだ。

今年もよろしく願います。

公民館は1月4日から開館しています。好天にも恵まれて、さっそく各サークルの活動が始まりました。どうぞ、健康、体調に留意され、稽古、練習、学習等に取り組んでください。公民館としても設備保全等、活動しやすい環境づくりや主催事業の開催に努めてまいります。

そこで・・・主催事業が目白押し。

主催事業の予定

1/23(火)「スマホ講座①」【受付終了】

1/23(火) サテライト講座

「情報洪水時代の歩き方」

【1階ロビーにて視聴してください】

夕方の情報番組『every』にニュース解説として時々登場する方の講演です。SNSなどにより、すぐに情報を得ることができると同時に、雑音とも思える情報が耳に入ってくる時代。皆さんはどのように対処していますか？

1/30(火)「スマホ講座②」【受付終了】

2/ 3(土)「金子みすゞの生涯と詩に触れる」

【受付終了】

2/16(金)17(土)「本格キムチづくり」

本場韓国キムチの作り方を実践します。

抽選必至の人気講座！



令和5年度 第14号
令和6年1月15日(月)
発行 千葉市新宿公民館
住所 中央区新宿 2-16-14
電話 043-243-4343

2/29(木)「睡眠と健康の知恵袋」

睡眠にお悩みの方、どうぞ。私も朝起きると肩が凝ってます・・・。睡眠は健康への第一歩。

3/15(金)「季節の和菓子づくり」

はんわか気分で優しい味わいの和菓子作り。オリジナルの工夫もできるかも。

4/16(火)「スマホ講座超初級①」

とても便利なスマホ。でもとても難しそう。

初めての方。新たに挑戦してみまよう。

4/18(木)「コーヒーをおいしく」

コーヒー飲まれます？

その深い香りと味を再発見しましょう。

4/23(火)「スマホ講座超初級②」

超初級その2。2週にわたって特訓です！

ますます興味が湧いてきますよ。

5/23(木)6/6(木)6/20(木)「ハーブ講座」

ハーブの優しい香りに包まれます。

ハーブを使った調理は絶品！

7/21(日)「楽しい盆踊り練習」

今年の夏は盆踊りに行こう！その前に体験しておきましょう。主事さんも参加して盛り上げます！

* 現段階での計画であり、講座名は仮称です。

受付期間等詳しくは開催日が近くなりましたらチラシでお知らせしますのでご確認ください。

ホームページでもチェックしてみてください。

利用登録の更新はお済みですか？

以前にもご案内いたしました。令和6年度利用登録の更新はお済みでしょうか。ほとんどの定期団体さんは書類を提出いただきましたが、まだいくつかの団体の確認がとれていません。こちらからもお声掛けいたしますので早めの提出をお願いします。

1月8日 成人の日

以前は1月15日でしたが、2000年からハッピーマンデー制度のため1月第2月曜日があてられ今年は8日月曜でした。大人の集いが執り行われるポートアリーナに向かうのでしょうか、新宿公園には朝からきれいな振り袖やスーツを着た新成人たちが見られました。(ところで新成人って18歳？20歳？)遠目で見かけたただけなので、その表情など

は見取れませんが、きっと懐かしい旧友との再会を、楽しく、またちょっと照れ臭く、喜ばしいひと時を過ごしたのでしょう。天気にも恵まれ、晴れ晴れとした様子でした。

「近頃の若いもんは・・・」の後には、よく否定的な言葉が並べられていた時代がありました。自分(昭和の激動の時代に生きてきた人が多いように感じますが)を中心に物事や行動の規範を決めて秤にかけて言い放っていたのではないかと思います。私が若い時にも私たちは言われていたと思いますし、この年になって私も何かしら今の若い人たちに何らかのそのような感情を持っている部分があります。それはきつと的を得ていることもあるでしょうし、時代錯誤も甚だしいと思われることもあるでしょう。いつの時代にも、その時の“若者”は経験をしながらうまく“消化”、“昇華”してきたと思われます。少子高齢化社会のなかで、こども、児童、生徒、学生、若者は社会の宝なのですから、どうかたくましく生きていってほしいと思います。

新宿公園をそぞろ歩く、晴れ着を着た若者たちに、「がんばれ若もん！」のエールをお送りしました。

昨年亡くなった作家、伊集院静氏は、毎年成人の日に新成人に向けた言葉を新聞に寄せていました。今年1月8日の新聞にも掲載されていたので紹介します。お亡くなりになる前に執筆していたとのこと。

誇り

新成人おめでとう

今日から君は新しい道を歩いていくことになる。
この道には懸命に生きる人の誇りがある。
誇りをもって生きること、それは私たちの務めである。

誇りとは何か？

それは信念をもって歩いていくことだ。

今まで同様、誇り高い道をまっとうしてくれ。

大勢の人がそれを望んだように、
あなたもまた、自信を持ってその道を歩んでほしい。

そこには必ず生きる喜びがある。

君の人生の肝心があさあ、頑張っって私たちの
明日に向かおう。

大切なものを抱いて、進むんだ。

伊集院静

今日の公民館



【裏庭にはチューリップの
球根が埋まっています。】

季節の風景

春の七草・・・漢字で書くとこうなります。

「せり 芹 なずな 薺 ごぎょう 御形 はこべら 繁縷 ほとけのざ 仏座

すずな 菰 すずしろ 蘿蔔 これや七草」作者不詳

春の七草、と問われると言えますが、上の漢字一つひとつは・・・読めませんね、難しい。

その昔、その日の朝に摘んできたものを新春に食べると長生きができる、と信じられたそうで、今でもその風習はありますよね。

「君がため 春の野に出て 若菜摘む

わが衣手に 雪は降りつつ」 光孝天皇

もともと、当時は若い娘が摘んできた方が縁起がいいとされていた若菜摘みですが、現代の街中ではせいぜいスーパーで買ってくるしかできないのではないのでしょうか。1月7日、正月疲れの胃袋を癒すために、そして長生きできますようお願いを込めて、七草粥、召し上がりましたか？

被災地の 寒さを分かっ 千景に雪
能登に馳せ 初空に ひかる息を吐く

～がんばれ 北陸・・・

(新宿公民館 館長 迎 浩二)